

藤沼貯水池（藤沼湖）

（ふじぬまちょすいち（ふじぬまこ））



全景



桜並木とため池

ため池の概要

ため池の所在地

福島県須賀川市

ため池の特徴

藤沼貯水池（藤沼湖）は、長年水不足に苦しんでいた旧長沼・梓衝・稲田の1町2村の人々が、主に人力で築き上げたもので、昭和12年に着手し、12年の歳月を経て終戦直後の昭和24年に完成しました。

現在も下流の865haに及ぶ肥沃な水田に農業用水を配り、水不足のない生産性の高い営農に貢献しています。

周囲には約80ヘクタールの公園が整備され、春は桜、夏はヤマユリなど季節の花々が咲き誇り、秋には赤く色づく紅葉が湖面を美しく染めます。

温泉・コテージ・オートキャンプ場等のレクリエーション施設も充実しており、年間10万人の観光客が訪れています。

藤沼湖自然公園を会場とした「高土山山開き」「桜まつり」「藤沼湖畔マラソン大会」などが開催され、地元にも親しまれる溜池となっています。

また親子によるピオトープ自然観察会や小学校の総合的学習などにも利用されています。

関連情報